# あさおの町会・自治会 vol.36

麻生区にある125の町会・自治会をご紹介いたします。

## 市営真福寺住宅自治会　会長　佐藤　肇

私たちの自治会は、1972（昭和47）年王禅寺西7丁目18番地、現在新百合ヶ丘～あざみ野間の柿生新橋バス停前に位置する場所に建設され、

市営真福寺住宅入口付近

この地で早くも47年になります。当初は全戸5階建80戸・3階建12戸の合計92世帯の小さな自治会でしたが、各階から役員1名を選出、8名の役員でその中から会長、副会長、書記、会計、衛生2、防犯、交通と役割分担しスタートしました。打ち合わせの会場もなく、はじめは会長宅で会議などを行っていましたが、その後、集会所の建設を依頼し平屋建の集会所を建設することができました。また2階建8戸が増築され合計100戸となり、現在は役員10名で運営しています。

年間の主な行事は防災訓練、年3回行う住宅敷地内の大掃除です。これには各家庭の家族の方が参加し草刈りや清掃を行い、団地内のよい交流の場となっています。

今後の課題としては高齢者の増加が挙げられます。デイサービスや自宅介護の方も増えています。また、ひとり住まいの家庭も多く安否が心配です。その他に入居者の減少の問題があり、100戸の住宅ですが、現在入居は73世帯です。

きれいに清掃された住宅敷地内

## 塔之越睦会　会長　池原　尚治

塔之越睦会は東百合丘1、2丁目の各一部からなる65世帯の町会です。

塔之越は「塔ノ越」「塔の越」とも記し、かつての生田村大字高石（おおあざたかいし）の小字（こあざ）の名称で、「峠を越える」という意味だそうです。団地坂上バス停付近の鶴見川と多摩川の分水界に連なる尾根道の東側に位置します。町会内の高台からは、鶴見つばさ橋、ビルの間から隅田川の花火、房総半島も見えます。バス停原店前（はらみせまえ）北側高台にまとまって1つに見える3本のクスノキの西側2本は川崎市の「まちの樹50選」、もう1本も「保存樹木」です。標高約120mにそびえる塔之越の「ランドマーク」です（場所は西塔之越自治会内）。

1960（昭和35）年3月に百合ヶ丘駅開設。60年と61年にそれぞれ百合丘第一・第二団地（建替え済）の入居が始まりました。そのすぐ後、現在の原店前バス停南東側の里山斜面に「向ヶ丘遊園文教台」が造成され、62年には居住が始まりました。数軒の家から徐々に増えてゆき、塔之越睦会が創設されました。さらに斜面の南側の谷やバス通り北側にも住宅が建ち、現在の大きさになりました。

かつては朝に町会内からそろって小学校に通う子どもたちが見られましたが、近年はご多分に漏れずお年を召した方が多くなりました。とはいえ、最近また赤ちゃんや小学生の姿を見ることができるようになりました。

町会創設後しばらくは旅行や懇親会、芋掘りなどの行事もありました。現在は生活様式の変化や高齢化のためか続いていませんが、皆さんは町会の活動に協力的です。今の取り組みは次の通りです。

①歩行者の妨げとなり危険な原店前下りバス停の状況の改善を近隣自治会と連携して提案
②大地震などの時の「無事ですタオル」運動（世帯が安全ならタオルを掲出）の導入と訓練
③街頭消火器の設置、各世帯に設置時の購入費用補助
④世帯負担を考えて町会費などの低減と作業負担軽減のための徴収方法の変更

隣接の横浜市青葉区と共に麻生区は日本でも平均寿命の長い地域です（最新の2015（平成27）年調査で男性は全国2位の83.1歳、女性も4位で88.6歳）。前述のように当地は標高が高く、坂や階段に囲まれています。外出したら坂を上らないと家に戻れません。科学的根拠はともかく「生活そのものが運動になる長寿地域」といえるかもしれません。

（2019年8月 記）

# 防災への取り組み

## 真福寺町内会●避難防災訓練

車いす体験

9月28日（土）午前10時～正午、川崎市立真福寺小学校の校庭・体育館を借りて、避難防災訓練を行いました。区役所・消防署、地域の消防団・消防ボランティア、地域包括支援センター・他の皆様にご協力をいただき、アカシア自治会・市営真福寺住宅自治会の方にも参加していただきました。112名の参加者で、少しずつ減少していますが、毎年実施・体験することが大切と考えています。

私たちの避難防災訓練は、まず各家庭から避難所へのルートの安全を確認しながら集合、説明・諸注意の後、各種体験・訓練を行っています。例年、煙体験や簡易トイレ組立、起震車・車いす・ホースキットによる放水訓練などを行っています。今年は特に、非常食の炊出しに加え、ポリ袋を使い10分間の過熱でできる料理（洋風おでんやリンゴのコンポート）の体験・試食を行いました。"溝の口減災ガールズ"のご厚意でレシピを全員に配布し、参加者から好評を博しました。

炊出し・ポリ袋料理の様子

講評の様子

## 柿生駅前町内会●防災訓練

起震車体験

9月22日（日）、麻生消防署柿生出張所、柿生アルナ園の協力を得て、防災訓練を行いました。テーマは、「緊急地震速報　自宅にいるあなたはどうしますか」です。緊急地震速報は、震度5弱以上を想定し、震度4以上の地域に発表されます。起震車では、震度4と麻生区で想定される最大震度6弱を体験しました。「立っていられないね」、「逃げられないね」などの感想があり、まず身を守ることが第一であることを痛感しました。緊急地震速報があったとき、「まず、大声で家族全員に知らせる」、「一番危険な場所は台所である」など、クイズ形式で参加者と話し合いました。さらに、水が勢いよく出てビックリの消火器の使い方、意外と操作が難しい車いす（アルナ園職員の指導）、匂いのついた煙体験、応急担架づくりを体験しました。

当町内会は、引き続き、防災訓練、啓発活動などにより、地域の人々の防災意識を高め、参加と協力を得て、地域の防災力を一歩ずつアップしていきます。

煙・消火器体験